



【同時記者発表クラブ】

筑波研究学園都市記者会、国土交通省九州記者会、
九州建設専門記者クラブ

平成30年7月4日
九州地方整備局
国土技術政策総合研究所

「無降雨時等の崩壊研究会」の発足について

大分県中津市耶馬溪町では、降雨がない中で斜面崩壊が発生し、人命を伴う甚大な被害を及ぼしました。このため、国土交通省国土技術政策総合研究所及び九州地方整備局は、九州地方における無降雨時等に崩壊が発生しやすい地形や地質的特徴などを明らかにするため、「無降雨時等の崩壊研究会」を発足させます。

- 九州では、今年4月の大分県中津市耶馬溪町を始め、鹿児島県垂水市（H27）、同南大隅町（H22）など、火砕流台地の周縁部で降雨終了後、あるいは全くの無降雨時に斜面が崩壊する現象が発生しています。
- 無降雨時等の崩壊は、その発生機構が不明な点も多く、住民の警戒避難はもとより発災後の救助・捜索活動や復旧活動などに際して二次災害を引き起こす恐れもあることから、無降雨時等に崩壊の危険性がある斜面を特定する技術などの開発は重要であると考えます。
- このため、国土交通省国土技術政策総合研究所及び九州地方整備局は、過去の無降雨時等の崩壊事例なども踏まえ、その発生実態の整理や発生機構の考察を行うとともに、九州地方において無降雨時等における崩壊の危険斜面選定手法の確立を目的に、学識者、研究機関等による「無降雨時等の崩壊研究会」を発足させ研究することとしました。

※無降雨時の崩壊・・・降雨終了後、あるいは全くの無降雨時に発生する崩壊

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 河川部 河川計画課長 こばやし ゆう 小林 侑
建設専門官 えぐち ひでのり 江口 秀典
電話：092-471-6331（代表）

国土交通省 国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部 さくらい わたる 桜井 亘
深層崩壊対策研究官
電話：029-864-4372

「無降雨時等の崩壊研究会」

【構 成 員】

- ◆学 識 者 鹿児島大学 地頭菌教授
九州大学大学院 水野准教授
- ◆研究機関 国土交通省 国土技術政策総合研究所
- ◆行政機関 大分県
国土交通省 九州地方整備局

【事 務 局】

- ◆国土交通省 国土技術政策総合研究所 土砂災害研究部
- ◆国土交通省 九州地方整備局 河川部

【第 1 回 研 究 会】

日時：平成30年7月11日（水）15：00～

場所：福岡第2合同庁舎 2階 共用第2会議室

福岡市博多区博多駅東2丁目10-7

※取材申込：研究会の取材を希望されますマスコミ関係者の方は、7月6日（金）17：00までに別紙3により申し込みをお願いします。

※テレビカメラ等による撮影は冒頭のみ（「2.研究会の設立について」まで）可能です。なお、会場の都合上、報道関係者以外の方は入室出来ません。

※研究会終了後、事務局より概要を説明いたします。

【別紙2】

第1回 無降雨時等の崩壊研究会

平成30年7月11日（水）15：00～
福岡第2合同庁舎 2階 共用第2会議室

議 事 次 第

1. 開会
2. 研究会の設立について
3. 無降雨時等の崩壊現象の事例紹介
4. 調査・研究方針
5. その他
 - ・今後のスケジュール等
6. 閉会

取 材 申 込 書

取材を希望される方は、事前にご登録をお願いします。

FAX 送信期限：平成30年7月6日（金）17：00まで

FAX 送付先：国土交通省 九州地方整備局 河川部 河川計画課 梶原 宛

FAX 番号：092-476-3470

※取材にあたっての留意事項について

1. 当日、福岡第2合同庁舎2F共用第2会議室前で受付をお願いします。
2. カメラ撮りは、冒頭のみ可能です。研究会終了後、事務局より概要説明いたします。
3. 社名入りの腕章を着用願います。
4. 係員の指示があった場合には、その指示に従って下さい。
5. 研究会出席者へ直接取材することをご遠慮ください。
6. 大雨等の気象状況等により防災体制をとる場合には研究会中止する場合があります。

◆報道機関名
◆取材者の役職・氏名
1) 代表者 _____
2) _____
3) _____
◆連絡先（代表者）

（備考）

上記の「◆連絡先(代表者)」には、研究会当日に連絡可能な連絡先を記入して下さい。

（研究会当日、大雨などの気象状況等により防災体制をとる場合に研究会中止の連絡をします。）

【申込みに関する問合せ先】

九州地方整備局 河川部 河川計画課	かじはらしんいち あきやまようへい
梶原慎一、秋山陽平	

TEL：092-476-3523（直通）